



持続可能な社会へ。

サステナビリティ戦略診断ツール

CSR経営・取り組みレベルの評価・分析

この全58問に、CSR経営の本質のすべてを凝縮しています



株式会社 イースクエア

■「サステナビリティ戦略診断ツール」とは

昨今、CSR(企業の社会責任)への対応は、企業の競争優位性を大きく左右する要素として広く認識されるようになりました。イースクエアではCSR活動を、企業がステークホルダーから支持され中長期で勝ち残っていくための鍵であると共に、社会の持続可能な発展に貢献する積極的な取り組みであると位置付けています。

持続可能な発展は、「現在生きている人々のニーズを満たしながらも、将来世代の可能性を脅かさない発展」と一般的に言われていますが、企業は、より長期的でグローバルな視野を持ち、事業を通してその実現に取り組むことでこそ、社会責任を果たし、また、持続可能な価値創造に貢献することが可能となります。

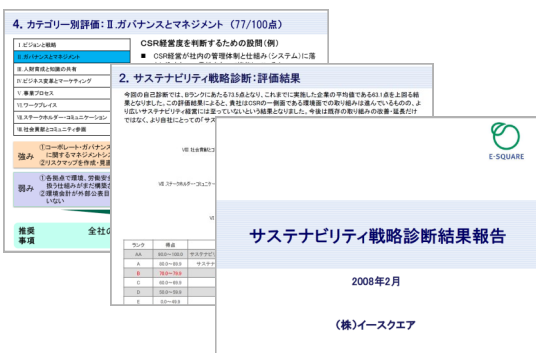
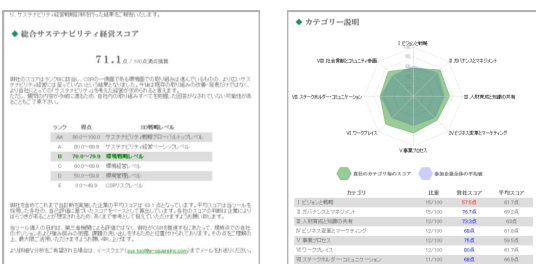
サステナビリティ戦略診断ツールは、CSRへの対応を強化する(つまり、サステナビリティ戦略を推進する)ための自己評価ツールとして、イースクエアが独自に開発したものです。変容する環境・社会的制約条件を鑑み、自社の強み・弱みを正確に把握することで、今後注力すべき分野を見極め、取り組みの強化・深化に生かしていくことを目的としています。

■ 診断の流れ

Web回答画面例



Web評価画面例



8カテゴリ全58問に対し、5段階で自社のレベルを自己評価します。設問に対する対応がほとんどない場合はレベル1、最大限実施できている場合はレベル5となります。レベル3とレベル5の実施度合いを例示しているの、回答の際の参考にして下さい。設問の内容は、企業経営の姿勢を含むCSR分野全般が対象となっており、レベル5は世界の先端企業の取り組みを想定したレベルとなっています。

回答結果を自動で評価し、総合サステナビリティ経営スコア、これまでの受診企業の平均スコアと貴社の比較、貴社の取り組みレベルを表示いたします。特にレーダーチャートにより会社全体の取り組み状況が一目で確認でき、どの分野における強みをさらに伸ばしていくべきなのか、どの分野の補強が必要なのかといった、今後取るべきCSR戦略の方向性を経営者の視点で共有することができます。

より詳細な診断書を弊社コンサルタントが作成します。貴社のカテゴリごとの強み・弱みといった詳細な分析と、改善のためのご提案を、10ページ程度の診断書として作成いたします。また、貴社の経営層を対象とした報告会(1時間程度)を実施し、改善の方向性を議論し解決策をご提案いたします。

■ 8つのカテゴリーで診断

I ビジョンと戦略 8問

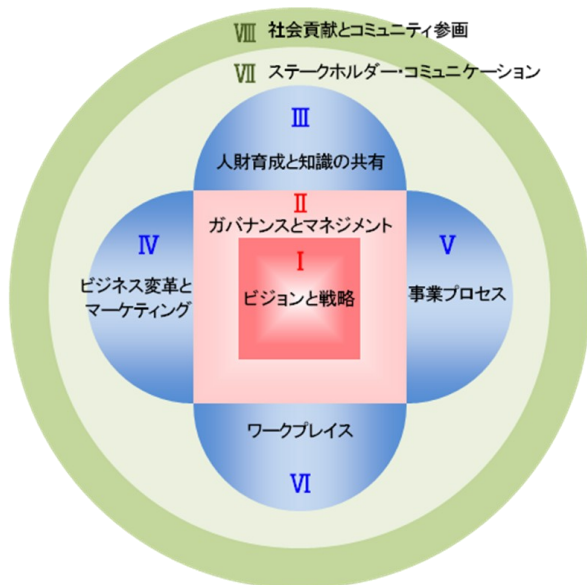
■サステナビリティへの展望と戦略的フォーカス

CSRが経営の中心的課題としてしっかり位置付けられ、経営層が自らその本質を理解し、行動に反映できているか、といった企業経営の根幹として重要な要素を問います。

II ガバナンスとマネジメント 12問

■マネジメントの一貫性と組織における連携

CSR経営が社内の管理体制と仕組み(システム)に落とし込まれ、一貫性を持って機能しているか、また、ガバナンス(企業統治)のあり方が明確で、効果的に機能しているかを確認します。



III 人財育成と知識の共有 6問

■スキル開発、効果的な情報共有、CSRリテラシーの育成

CSRの取り組みが担当部署や経営層など一部の人々にとどまらず、従業員全般(雇用形態問わず)の日々の業務や働き方、行動に落とし込まれているかを確認します。

IV ビジネス変革とマーケティング 7問

■サステナブル・ビジネスの追求および本業との連動

研究開発、ビジネスモデル開発などにおいてCSR的視点を重視しているか、顧客からの声を企業活動の改善につなげているかなど、CSRへの取り組みが本業と連動しているかを問います。

V 事業プロセス 10問

■設計・生産・流通におけるサステナビリティ

設計から生産、物流など事業プロセス全般において、資源・エネルギーの効率的利用を促進するだけでなく、社会・環境に対する負荷を減らし、より有益な影響を及ぼす取り組みを推進しているかを確認します。

VI ワークプレイス 6問

■労働条件とワークプレイスの充実

企業活動による人権侵害が行われないよう適切な注意を払う体制が、国内外の事業所で確立されているかを確認します。

VII ステークホルダー・コミュニケーション 5問

■情報開示とステークホルダー参画

積極的な情報開示を行うとともに、自社のさまざまなステークホルダー(利害関係者)との効果的な双方向コミュニケーションが図られているかを確認します。

VIII 社会貢献とコミュニティ参画 4問

■企業市民としての戦略的な社会貢献

地域社会との協働、ミレニアム開発目標への貢献、社会啓発、自然修復活動への貢献が体系的・継続的に行われているかを問います。

※サステナビリティ戦略診断ツールで使用される「CSR」という言葉は、自社の「持続的発展」と社会および自然環境を損なうことのない「持続可能な発展」という両者の実現に向けた企業の一貫した取り組みを意味しています。

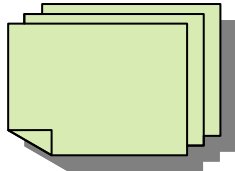
※サステナビリティ戦略診断ツールの開発にあたり下記の原則・ガイドライン・基準等を参考にしています。

ISO26000、CERES原則、Valdez原則、Global Sullivan原則、AA1000、SA8000、GRI、環境格付機構調査票、国連グローバルコンパクト、OECD 多国籍企業向けガイドライン、ナチュラルステップ、SIGMAガイドライン、ISO14001、SAM、FTSE4Good、Ethibel、サステナビリティ社Global Reports、経済同友会企業評価基準、日本経済団体連合会 CSR推進ツール、その他

■ 活用方法

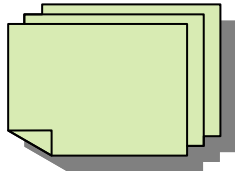
サステナビリティ戦略診断ツールは、これまでに30社以上の企業様に受診いただいております。また継続的にご活用いただいている企業様もいらっしゃいます。下記にその活用事例をいくつかご紹介します。

例1 全社での取り組み状況を定点評価

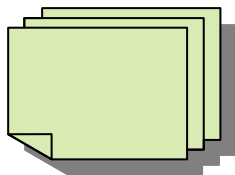


CSR活動の推進度合を測定するKPI(評価指標)として利用。半期に一度、全社での取り組み状況の確認を行い、役員会、CSR委員会等で改善点を議論する。

例2 部門毎にIDを発行し、部門レベルでのCSR評価ツールとして利用



事業部門レベルでの現状把握を行い、改善すべき点が何かを明確にして今後の取り組みにつなげる。



日頃CSRやサステナビリティを意識する機会が少ない事業部門にも、8カテゴリーと自分の業務との関連性について意識するきっかけを提供する。

■ 質問サンプル

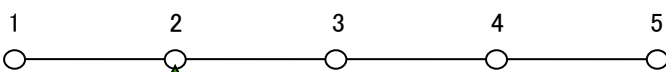
I. ビジョンと戦略 ～サステナビリティへの展望と戦略的フォーカス～

I-1 経営者のビジョンと全社の戦略展望

経営者がグローバルな視点を持って、地球温暖化・資源枯渇・自然破壊等をはじめとした環境問題や、富の格差・差別(人種・性別・障害者など)・児童/強制労働などの深刻な社会問題を認識し、CSRの取り組みにコミットメント*を表明している。自社理念やビジョンにCSR戦略を反映しており、その展望を全社的に表明し、組織の末端まで浸透させている。

*コミットメント: 目標を宣言し、その達成に責任を負うこと

レベル



(コメント入力欄・全角500文字まで)

該当しない

◆回答レベルの目安

レベル3 : 経営者が、時代認識・危機意識を背景とした自社にとってのCSRを語るができるが、他の経営層や社員への浸透が不十分。

レベル5 : 経営者が、自らの言葉で自社のCSRの捉え方と取り組みを説明することができ、自らのコミットメントを表明している。その展望を、組織の末端まで浸透させている。コミットメントの進捗状況は定期的に把握され、全社員に共有されている。

■ 料金・オプションのご案内

診断料金：1社 64万円(税抜き) ※Webによる自己評価のみの場合、1社32万円(税抜き)でご提供(1年間有効)

- ・サステナビリティ診断実施 (Webによる自己評価)
- ・診断書 (10ページ程度)
- ・報告会 (1時間程度)

※グループ企業で実施する場合、割引有り

※「CSRコンパス」会員企業様は2割引(税抜き)をご利用頂けます

オプション：① 個別セッションの実施

貴社ご担当者様と弊社コンサルタントによる、各質問ごとの現状を確認しながらの診断です。

- オプション料金16万円(税抜き) (4時間以内)

② 体系的な情報提供によるCSR取り組みの推進

弊社が運営している企業ネットワーク「CSRコンパス」では、そのWebサイトで、サステナビリティ戦略診断ツールと同じ8つのカテゴリで整理したベストプラクティス集を提供しております。またその事例に関連したニュースや有識者のレポートなど、その他様々な情報も掲載しており、体系的に整理された情報が、御社の取り組みを後押しします。CSRコンパスの会員となっていただくことで、いつでも必要な時に必要な情報をご利用いただけます。

- CSRコンパス年会費 60万円(税抜き) ※セット割引。2年目以降は、定価の80万円となります。

お問い合わせ先

本件に関するお問い合わせは下記までお願いいたします。



E-SQUARE

株式会社イースクエア

担当:本木

東京都港区西新橋3-23-12 第二山内ビル3階
TEL : 03-5777-6730 FAX : 03-5777-6735

URL : <http://www.e-squareinc.com>
E-mail : info@e-squareinc.com

